

住 所	大山町赤坂764番地
事業所名	地域密着型通所介護ほほえみ
管理者名	堀江 隆幸
日 時	令和3年6月9日（水）午後2時～午後2時45分
場 所	福祉センターなかやま内 軽作業室
出席者	齋尾、岩本、赤川、井上、前田、中島、景山
事務局	押村、日野、堀江、天野

令和3年 第3回運営推進会議 開催報告書

次のとおり推進会議を開催しましたので関係書類を添えて報告します。

記

サービス種別	地域密着型通所介護		介護予防	
			<input checked="" type="checkbox"/> 有（休止中）	<input type="checkbox"/> 無
事業所名	地域密着型通所介護ほほえみ		事業所番号	3191500093
担当者	堀江 隆幸	電話番号	0858-49-3012	FAX
				0858-49-3013
1 活動状況に関する評価		※会議の評価を総括的に記載してください。		
<p>【コロナ禍の中での行事開催やボランティア交流について】 行事開催については、毎月お菓子作りと食事作りは行っており、ご利用者からも好評をいただいている。ボランティア交流については、ワクチン接種が終わってから交流予定としているが、現時点では再開時期は未定となっている。</p> <p>【ひやりはっと、事故報告書について】 この度より、令和3年1月～令和3年6月までに発生したひやりはっと・事故の報告書を添付し委員よりご助言を頂く。</p>				
2 主な要望、助言等		※会議で委員が発言した主な要望、助言等を記載。		
	①	ボランティアとの交流は、買い物外出の付き添いの他にどのような事があるのか？		
	②	夕方になると施設から出歩かれるご利用者を見かけるが、その様な方はいるのか？		
	③	ご利用者との苗植えが活動内容に上がっているが、どこで行っているのか？		
	④	介護報酬の改定文書を配布されてご利用者やご家族からの反応は何かあったのか？		
	⑤	事故の再発防止策（送迎忘れ）が不十分では？職員の意識任せでは再発するのではないのか？		
	⑥	フラツキ事案に関するひやりはっと報告書が上がっているが、付き添って歩いているのか？		
3 要望、助言に対する考え方		※上記2に対する事業所の考え方を番号順に記載。		
	①	外出行事以外には、傾聴ボランティア、図書館交流、保育園などの交流がある。昨年度は、交流している時もあったが、新型コロナウイルス感染症のため一時中止している。事業所側とボランティア側のワクチン接種が完了し、感染状況が落ち着いていたら再開する予定としているが、現時点では開催時期は未定となっている。		
	②	当事業所は、夕方頃に自宅に送るため、夕方に外出される事はない。場所が分からなくなり不安になり、その結果、外に出ようとされる方はいるが、職員もその様な方は把握しているので、離施設リスクはあるが、現時点ではリスクは低い。施設の形態によっては、その様な方が入所されている施設もある。外に出歩かれる方もいるが、施設の支援方法によっては、敷地内までは自由に入出入りする事が容認されている所もある。 大山町が行っている、徘徊者登録を活用し、ご利用者の方で行方不明になる可能性がある方は、担当ケアマネージャ、ご家族と話し合い登録を勧め、実際に登録された方もいる。		

③	社協玄関横の駐車場の後ろに花壇があり、そこで一緒に苗や花を植えており、草取りや水遣りも一緒に行っている。
④	改定文書配布後、特にご意見は頂戴しておらず、皆さんの協力の下、特に問題なく事業を勧める事が出来ている。
⑤	ご指摘の通り、最後は職員の意識に頼る事にはなる。職員には、行先を記載した用紙を1週間単位で配布しており、その用紙を元に毎朝の朝礼で確認を行っている。しかしながら、この度、この様な事故に繋がってしまった。良くは無い事だが、対策をいくら立ててもヒューマンエラーが発生する事はある。そのミスをどの様に少なくしていくのかは課題ではあるが、最終的には職員の意識に頼らないといけない事もあると考えている。同様の事が発生しないように緊張感を持って取り組んでいく。
⑥	転倒リスクのある方は、職員が付き添い歩行を行っているが、常時、その対応を実施するのは困難であり、転倒を無くす事は出来ない。しかし、日頃のご利用者の状態を把握する様に勤め、未然に防げるように介助方法や環境整備を行いながら対応していきたい。
4 その他特記事項	
①	<p>※上記2に該当しないその他の主な事項を記載。</p> <p>運営推進委員より 新型コロナウイルス感染症が終息し、ボランティア交流や外出行事が早く出来る事を望んでいます。自宅では出来ない事もデイサービスに行くと出来る事が沢山あるので期待して楽しみにしています。</p>